化学物質安全データシート

作成 2011年 03月 31日

整理番号 34840H

[1. 化学物質等及び会社情報]

製品名、化学名、別名

ハイドラナール クーロマット CG
HYDRANAL Coulomat CG

会社情報

会社名 :シグマ アルドリッチ ジャパン株式会社
住所 :東京都品川区東品川2-2-24
担当部門 :コンプライアンスグループ
担当責任者:コンプライアンス担当
TEL :03-5796-7310
FAX :03-5796-7315
緊急連絡先:同上

[2. 危険有害性の要約]

GHS分類

引火性液体:区分2
急性毒性(経口):区分5
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2A
生殖毒性:区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分1(中枢神経系,全身毒性,視覚器)
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分1(中枢神経系,視覚器)

GHSラベル要素

◇絵表示又はシンボル…

◇注意喚起語…

危険

◇危険有害性情報…

引火性の高い液体および蒸気
飲み込むと有害のおそれ (経口)
強い眼刺激
(気道刺激性) 気道への刺激のおそれ／(麻酔作用) 眠気またはめまいのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(視覚器,全身毒性,中枢神経系)
長期または反復暴露による臓器の障害(視覚器,中枢神経系)

◇取扱注意…

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温の物のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
(製品が危険有害な気体を発生させるような揮発性であり、静電気に敏感な物質を積みなおす場合は)容器および受器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面/指定された個人用保護具を着用すること。
皮膚(または毛)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
応急処置等の特別処置はMSDS参照。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
火災の場合:(水がリスクを増大させる場合は)MSDSまたは消防法で指定する適当な消火手段を使用すること。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
内容物/容器は国又は自治体の規則に従って廃棄すること。

[3. 組成及び成分情報]

単一製品・混合物の区別

混合物

CAS No.,成分名及び含有量

67-56-1 メタノール 45 %
14426-21-2 ジエタノールアミン塩酸塩 55 %

[4. 応急措置]

1. 眼に入った場合、直ちに15分以上水で洗い、医師の手当を受ける。
2. 皮膚に付着した場合、直ちに水で洗い、状況に応じて医師の手当を受ける。
3. 吸入した場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し医師の手当を受ける。
4. 飲み込んだ場合、直ちに多量の水を飲ませ医師の手当を受ける。

[5. 火災時の措置]

消火剤

水の噴霧、耐アルコール性泡、二酸化炭素、粉末

消火方法

火災時には窒素酸化物、塩化水素が生成するため、自給式呼吸器を使用する。

[6. 漏出時の措置]

おがくず、ウエス等に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。

[7. 取扱い及び保管上の注意]

取扱い

1. 換気を十分行ない蒸気を吸わないようにする。
2. 保護具を着用して眼、皮膚につかないように取扱う。
3. 取扱い終了後は手をよく洗う。
4. 使用前に取扱いの指示を受ける。

アンプル開封時の注意

1. 本製品は下記の包装形態 (特徴) で、安全のため開封時には手袋を着用する。
- アンプルに入っている。
- アンプルの首の部分に開封用のきざみがついている。
- アンプルを簡単に開封することができる (やすりは不要)。

貯蔵

1. 直射日光を避け換気設備のある冷暗所に保管する。
2. 容器は密閉、火気厳禁。

[8. 暴露防止及び保護措置]

◇安全管理上の留意事項…

曝露対策

換気装置の設置

保護具

有機ガス用防毒マスク(必要ならば)、耐溶剤保護手袋、保護眼鏡、保護衣の使用

許容濃度

200 ml/m3, 260 mg/m3 (67-56-1 メタノールについて)

[9. 物理的及び化学的性質]

外観等

黄色液体

臭気

芳香臭

比重

1.064 (20°C)

沸点

63°C

溶解度

水:可溶

引火点

14°C

爆発限界

上限 26.5 %, 下限 5.5 % (含有している 67-56-1メタノールに準ずる。)

[10. 安定性及び反応性]

◇安定性・反応性…

易燃性

◇有害分解生成物…

窒素酸化物、塩化水素

[11. 有害性情報]

毒性データ

(含有するメタノールの毒性値)

急性毒性:

1. LD50(経口、ラット) 5628 mg/Kg
2. LD50(経皮、ラビット) 15800 mg/Kg
3. LC50(吸入、ラット) 64000 ppm/4時間
4. LDL0(経口、人) 340 mg/Kg

その他

吸入、摂取すると有毒。眼、皮膚を刺激する。皮膚吸収の恐れ有り。

[12. 環境影響情報]

河川、下水、地中等に流さないこと

[13. 廃棄上の注意]

焼却法

可燃性溶剤と共にスクラバーおよびアフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

[14. 輸送上の注意]

国連分類及び国連番号

1230

容器は密閉、光、湿気を遮断。

[15. 適用法令]

◇消防法…

危険物第四類第一石油類 (水溶性液体)

◇船舶安全法…

引火性液体類 (中引火点引火性液体)

◇労働安全衛生法…

危険物 (引火性の物)

有機則 (第二種有機溶剤等)

施行令第18条名称等を表示すべき有害物（メタノール）
法57-2 (令18-2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物
No. 560

[16. その他の情報]

参考文献、参考資料

「化学品安全管理データブック 増補改訂第2版」化学工業日報社
「13700の化学商品」化学工業日報社
「化学物質等法規制便覧」化学工業日報社
「危険物関係法例 チェックリスト解説」第一法規出版株式会社
「日化協 化学物質法規検索システム」(社) 日本化学工業協会、株式会社アトラス
Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheet on CD-ROM

本MSDSは自社MSDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本MSDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。